【令和8年度　コミュニティ・スクール太宰府西小学校　校長通信】　No.７（R８.11.12）

# まほろばの丘から

［文責］
校長　江頭　雄一郎

## 「笑顔」いっぱいのふれあいフェスタ

校庭の樹木が紅葉し始めた１１月７日（土）に、「ふれあいフェスタ」が開催されました。



フェスタのスタートと同時に、学校の色々な場所から子どもたちの楽しそうな声が聞こえ、その声の方へ足を運ぶと、たくさんの素敵な笑顔でいっぱいになっていました。

そんな笑顔を引き出し、支えていただいたのは、多くのボランティアの保護者の皆さんや中学生、そして地域の皆さん。さらに、企画から準備、運営をしてくださったＰＴＡ本部役員の皆さまのおかげです。皆さんに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。



本年度の教育（共育）目標である「みんなでつくる太西の笑顔」が実現できた、とても素敵な「ふれあいフェスタ」になりました。今後とも、家庭・地域・学校の三者で連携・協働し、子どもたちの「笑顔」をたくさん引き出していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## 「責任」と「友情」

１０月２９日、３０日の一泊二日で、５年生が自然教室（夜須高原）に行きました。

宿泊を伴う集団活動では、一人一人が大切な役目を担い、責任をもって果たすことが求められます。その中で、それぞれの力を発揮して活動を成功させたり、友だちのよさの発見や優しい声かけをしたりしながら友情を深めていくことができます。



フィールドビンゴやニュースポーツ、ベッドメイキング、食事等の色んな場面で失敗をした子どもたちが多くいましたが、それもまた一つの学びです。失敗を次の成功につなげていくために、意識と行動を変えていくことで個人と集団が成長していきます。

二日目の野外炊飯は、これまでの失敗を取り戻すために一人一人が責任を果たし、協力し合うことでおいしいカレーライスを食べることができました。満足そうな子どもたちの表情と会話から、友情の深まりも感じました。



この自然教室で学び、体験を通して実感した「責任」と「友情」の大切さを、これからの最上級生へと向かう学校生活の中でも発揮し続けてくれることを期待しています。